明治二十一年八月卅日印刷
明治二十一年九月一日出版

婦人衛生會雜誌

（無定價）

第四號

私立
大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

○左の會員住所不分明に付き若し御存じの方有之候はゞ御一報被下度候

東京府下會員

石井鶴子　西川淸子　西村千鳥子

小川鈴子　尾形○子　高山鷹子

村井鈴子　松井安子　佐藤きね子

桐山小千代子　首藤きち子　根本しか子

村田梅子　莊田菊子

○本會雜誌第一號請求者夥しきを以て今般新に申込百名を越ゆれば再版し相當の代價を以て配布すべし

○本會改正規則幷に雜誌號外附錄として配布す但し號外は雜誌發兌の月を除き每月印刷し常會の際開場にて配布するものなれども欠席會員には雜誌發兌每に附錄として郵送すべし

○數多の會員中に御轉居の際本會へ御通知無之を以て郵送方甚た手數を要し候事間々有之候間以後は必ず其都度御報道有之度候

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生會雜誌　明治二十一年九月一日發兌

○衛生と行政府との關係

宇川盛三郎述　佃與二郎筆記

左は五月本會常會に於て講演せられたるものなり

私は衛生のヿに就いてハ全く商賣違ひで恰も酒の好きな者が菓子のヿのお話しする樣な譯でありますから衛生の事は何も申しません只今日お話し致して見たいと思ひまするヿは少しく六ヶ敷くなるの慮もありますが成るべく御子供衆にも分る樣に申す積りであります。

先づ國と云ふヿを一寸申しませう國と云ふヿハ色々の說もありますが人が集ッて大いなる一集合躰をなしたものを國と申しますので國と申します者に就てハ色々な公の用事があつて此の公事を取扱ひますものを行政府と申します行政府と云ふものは此の衛生に就て何ふ云ふヿを致さなければならぬかと云ふヿを申す積りであります。

先づ第一に衛生と云ふヿハ如何がの者であるかと云ふヿを學問上のヿハ商賣違ひだから申し上ませんが只私が伺ッた所では我々の健康を保存しからだの達者になる樣に注意すると云ふヿの樣に承知しました夫れから醫者のヿと醫術のヿは如何にと云ふに我々のからだが色々の譯でわるくなり一ッの家にすれば庇が落ちたとか風で屋根が飛んだとか云ふ樣にからだの何處歟が惡るくなつた其時大工をたのむとか左官を呼ぶとか瓦を載せるとかして舊の家の通りにするのが醫者の仕事です是れと反對で衛生の方ではチヤント出きて居る家の如きものを壞崩れぬ樣にするのだと云ふヿに承ッて居ります然らば私の考た所では斯う云ふヿにならうと思ひますケチなお話しの樣だが例へば我々が働ひて金を儲けるとして此の金で藏しをつけて居た所が何うした間違いか足りなくな

つた足りなくなつたのは丁度家の一部分が破損して修繕しなければならぬと同じことで修繕するには借金と云ふことをするキッチリ百圓使へばよろしいに其上に修繕の爲めに五十圓の借金をしたと云へば百圓丈は健康の部分で五十圓は病氣になつた部分なのでせう故に平常注意して無益の使ひ方をせず無闇に芝居などばかり見に往ッて錢を費はないと云ふのが衛生にあたりませう儉約とか身上持がよいと云ふのは衛生で身上持がわるく借金になつてから慌てると云ふのは藥を飲みはじめると云ふのと同じことです。モ一ッ譬へて考れば健康の人間が獨りある其人間は何うした間違いか叱られるイヤ罰せらるゝ其罰せらるのが醫術に當るのでからだが惡るくなつたから手も切り足も截てやらうと是れは醫者の仕事で罰せられぬ樣に間違いをしない樣に完全の人間にして置こうと云ふのが衛生にあたるのであり升左すれば衛生とは人間のわるくならぬ時のことで道德とか敎育とかにも似て居る道德があれば罪人になることはないと同じで衛生があれば病氣になることはありません夫れ故に衛生は身上持のよいのと同じく身の行ひもよろしく愼みもよろしく智惠を磨く爲めに學問すると云ふとに當るだらうと思ひます故に健康から衛生、次に病氣と云ふの順序にあらうと存じます。

衛生に就て私の考は只今申し上ました通りだが是れからは前の行政府と云ふことにあります行政府と云ふのは何かと云ふに勘定すれば大變だが國々によつて色々になります日本では三千八百萬餘の人間がありまして此の三千八百萬餘人の結塊が日本と云ふ國になつて居るので其の國の公事を取扱ふものが行政府であります行政府は恰好三千八百萬餘人の會の事務を爲る樣なものでコチラの會の事務員の樣なものであります然らば行政府は何をするかと云ふに行政府

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の仕事は左程入込んでは居りませんタッタ二ッしか有りません即ち國の安寧と國の進歩の二ッであります安寧と云ふことは細かうすれば長くなるが何事も騒ぎの無い樣に盜賊などに逢ふことの無い樣に人が無闇に撲けば之を止めると云ふが如きが安寧の事業です是れに就ては國の內部のことゝ外部のことであります內部と云へば西郷隆盛が戰を起せば之を鎭める、往來に酒に醉ッたものが亂暴して居る向島に花見に行けば喧嘩をして摑み合て居ると斯う云ふ樣なことの無い樣にしなければならん是れが爲めには巡査も必要なり兵隊も必要なり又喧嘩をしたのは何れが良か何れが否かと判決て貰うことも必要で御座ひます是れが第一の安寧と云ふことに關することであります夫れから第二の進歩と云ふことは國が進まずに只シットして穩かだけでは何も役に立たない何んでも國となつて居る以上は行政府は世話をして萬事進歩する樣にするのが第二の役目であります之を進るには色々の仕事があります例へば學校を興して人の智識を殖やす即ち教育の如き又は農業、商業の如き色々の事を奬勵して盛んにし又郵便の事業を整頓して手紙の往復を容易くし一本の電線で蝦夷の人と長崎の端の者が話しが出きると云ふ樣にする是等は國の進歩を計る爲めに行政府が爲すべきことだが行政府の仕事と云ふは先づ是んなものです。

然して國の進歩も亦安寧も何の爲めにするかと云へば人間の爲めにするので決して馬や牛などの爲めにするのではない人間と云ふものが有て國が出きて居るので詰り人と云ふものは國の元素となるものです故に人の世話もやいて貰わなければならぬから行政府が人の世話をすることになります左れば其世話は何れだけあるかと云ふに三ッあります第一は生れる事の世話、第二は衞生、第三は病氣と云ふ順にあります

子供が出來ればいゝとばかり云ふとも出來ません出來れば正き者(公生)とか正しくない者(私生)とか國と成つて居る以上は婚姻の仕方も極めなければならぬ又病氣はホオッテ置けば死んで仕舞ふ無闇にコロ〳〵と死んでは國が消へ、國が消へれば行政府も消へます依て病氣を救ふと云ふとに就ては文部省では醫者の大學校も建て、地方では病院も建てゝ(行政府でも病院を建てるが)何うか病人を救ッてやりたいと考へも致しませう、ソレで行政府は出生の方も病氣の方も世話致しまするとその間の衛生と云ふとも世話しませんと恰好拵へるとと傷れたものだけを世話して傷のつかない様に保存するとをしないと同じとにならうと存じます。行政府で衛生の事を世話せずに病だけの世話をするとすれば既に遅ひ多くは死んでしまうと云ふとになりませう死にかゝつた者を救ふより死にかゝらなひ様にするのが本當の順序であります故に行政府は豫め防ぐと云ふとをしなければならぬ例へば巡査が步行て居ても溝に落ちてから救つて遣るとか、落ちて呉れゝばいゝ、死んだら救つて遣ると云ふものではありません怪我をしさうになれば怪我をしない内に救うのが當り前で行政府が衛生に世話をやくのも豫め防ぐと云ふとにありますのです病人を救ふと云ふことは既に傷ついたものを拵へなほすので拵へ直すとが出きなければ死んで仕舞うのです。

故に政府では國の安寧、國の進步を務ると同時に衛生のとも病氣のとも世話をしなければならぬと云ふとになりませうソレで病氣の激しき例を申せば流行病と云ふものがあります流行病は御承知の通り滅多には御座いませんけれ共始終旅行をして居る樣なもので今年も東京に參るか參らぬかは知れませんが多くは南の方から參りますソーシテ一時に何千とか何

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

萬とかの人がコロ〳〵と死んで仕舞ふので御座ひます是れは個々の注意だけではなか〳〵防げませんから行政府が之を世話するの必要が起て參ります。

又外國との關係で政府が衛生の世話をしなければならんと云ふことがあります例へば只今申上げた流行病が船に乘て參る時々は長崎に着たり又は直に横濱に着たりすることがありますが我々が船に乘て大阪に行くと同じく虎列拉先生も國から國へと旅を致しますから國と國との關係が起つて參ります是れに就ては御承知の通り外國から船が參るとスレば若し其船中に虎列拉の病人があれば港からは上陸させぬ樣にします縱令ば横濱に參る船をば海の中に十日でも廿日でも留めて病氣の種が盡きたと云ふ時分に至りて上陸を許すと云ふことになるのです是れに付ては色々面倒が起ることは新聞紙などで御承知でも御座いませうが私は去る明治十九年の春期に英吉利國から葡萄牙國まで船で參りました然る所私の乘て居る船には虎列拉がなかつたから直上陸が出きましたが佛蘭西國から葡萄牙國に參つた船は直ぐ冲で留められました之を見て港に上りましてから段々と其譯を承つて見ますと斯う云ふ事柄でありました元來此の時には佛蘭西國では虎列拉は全く無いのです、所が佛蘭西國の殖民地で三千五百里程も離れておる西貢と云ふ所があります爰に五六人の患者が有たのです夫だから多分其本國なる佛蘭西に此の病氣が旅行して居るだらう然うすれば此の病氣が旅行して居るかも知れぬ佛蘭西の船が葡萄牙に參つたから其船に虎列拉が乘て居るかも知れないと云ふ大層の心配でありましたのです之を喩ふれば私の親類の者が北海道で盜賊をした然うすれば東京の某も親類だから盜賊仲間かも知れない而て某は又婦人衛生會の誰さんと話しをして居たから此の誰さんも仲間であらう故に此の誰さんが

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

來たらば門で反付ろと云ふと同じとですソシテ十五日幾んと二週間ばかりも海の中に留められたのを實見致しましたが是んなとは行政府の力でなけれバ出きません左もなければ我々一個人がお前の船ハ上陸を許さないと云ても駄目です行政府で之を留めても肯かぬ時ハ鉄砲で追ひ拂ふとか又は戰さをすると云ふとも必要でありますソレからまだ色々御座いますが例へば支那から日本に船が參ります然うすれバ此船には一人も病人ハ乘込まないと云ふの證文を出しますが左すれば私が醫者なれバ役人と共に此の船まで參つて船の底から何から檢査して病人が無ければ虎列拉の流行る土地から來ても直ちに上陸することを許さなければならぬ此の證文即ち免狀を與へることも行政府がしなければならんです。

此の如き次第で御座いますから衛生上のとハ國の內だけでハ用が濟みません只今長與專齋先生のお話の通り空氣ハ世界を包み世界中に色々の病氣を持てあることで御座いますから虎列拉が日本の横濱に參れバ又風に吹き飛ばされて亞米利加にも移り然うかと思へば歐羅巴にも渡つて又々日本にも立還ると云ふ樣なとがありますから各國の政府が殘らず寄合つて相談しやうではないかと云ふので衛生にかゝつた萬國の公會と云ふとを一千八百五十年に佛蘭西の巴里府で開きました即ち只今から三十八年程以前で御座ひます其れに出席したものハ佛蘭西、墺地利、以太利、西班牙、希臘、葡萄牙、露西亞、土耳其の八ケ國で御座ひます其の名代人が出て衛生上のとを相談しましたが二三年前の寄合ひには日本からも慥しか私しの友人なる永井久一郎と云ふ先生方を遣つて衛生上の相談をさせられましたとも御座ひます是等が國と國との上に於て政府が衛生上のとに世話しなければならぬと云ふとになりますのです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本なれば日本國の内部だけでも前の外に何は深山衛生上の用事があります井戸の掃除をする、恐るい水なれば是れを飲んではならない飲めば罰金と云ふ位にして之を防ぐ此等は政府が致さなければなりません縦令ば私の家の井戸なれば私ばかり飲んで死ねばよろしいが外の人即ち他人をも殺すと云ふことになりますから井戸には蓋をして釘を打ち封印して愈よ恐るいなれば潰すと云ふ迄にもしなければなりません又人間の外にも恐るい病があつて獸畜かコロ〳〵死ぬ疫病があります此等は迚も御婦人方が往て世話をすることも出きません是非行政府が錢を出して相當の人を頼んで然う云ふことの無い樣にしなければなりません。

此の如き譯でありますから衛生上のことを行ふには一方では醫者の學問と一方では行政府の力と雙方持合ッてゞなければ役に立たなくなるのです佛蘭西の例を申し上げませうか佛蘭西では全國の爲めに中央衛生會と云ふものが設けてあつて醫者とか其他衛生のことに明るき人の相談する所で又各府縣に一ツ宛衛生會があります又各郡にも一ツづゝ衛生會があります其下にコチラで云へば町村と云ふでもないが佛語では「カントン」と云ふ一區毎に衛生會を設けてあります併し醫者の方で衛生の世話をするのも行政府の世話も何れも外側からの衛生で御座ひます例へば私が我儘をすれば巡査が來て叱ると是れ外側から責るのです子供が菓子を食べたいと云へば親達の申すには學校に行け煎餅を一ッ遣るが若し途中であまけていれば何んにもやらないなどと云ふのは皆外側から責め掛けると云ふことになります。

私の考に外側からばかりの責め方では衛生が全くなるとは出きないと思ひます就ては衛生の成立ちは何うかと云ふに三ッのものから成立ちませう第一は家

事衛生とか家内衛生とか申しませう西洋では「ドメスチカル」即ち個々の家の衛生と申すのです。併し若し間違ッたことをすると往かんから第二には衛生の學者が衛生のことを差圖する。第三には行政府から世話をすると云ふことになります故に此會で衛生のことを御研究になるのは第一の家内衛生で御個々の家の内の衛生を行ひなさるのが第一の目的であらうかと存じられます即ち醫者とか政府とかが外側から責め掛けるのではなくして内側で我々もアナタ方も個々が息才にあつて醫者に禮をすることも廢め（だからと云て醫者に身代限りさせると云ふ譯でハないが）多く厄介になることの無い樣にして個々が皆然うなれば隣りの人も達者に村中、町中達者になり區内の人も達者になり府縣の人も殘らず達者になつて遂には日本中殘らずが達者になり尚も進んで世界中の人か達者になると云ふの順序で御座いませう故に此の家事衛生と云ふことが本統に出きて缺くる所なければ外側からの道具仕掛けハ入らなくなりませう然うすれば行政府ハ外國から病氣が參ります時だけ豫防の方法を施せば事足る樣にならうと思ひます。

以上に申し上げましたのが行政府と衛生との關係で御座いまして衛生は第一家事衛生。第二學術衛生。第三行政衛生との三ッになつて三ッとも何れも必要であると云ふことで御座ひます私も此の會の賛成員となり御請けを致しました以上は何か御參考になることを申し上げたいと云ふ所から右のお話しを申し上げました次第で御座ひます若し御退屈でありましたなら惡しからず思ぼし召されんことを御願ひ申します。（完）

○空氣の說

（衛生局長）長與專齋述　何與二郎筆記

左は五月當婦人衛生會常會に於て演述ありたるものなり

私は前回に空氣のお話を致しますると云ふことを、申し置きましたが、其時に申した通り、御婦人方の衛生會を催に就てハ、御婦人がお物識りになることを、冀望いしませんが、御承知になつたゞけハ、實地にお行ひなさるのが、別して必要であると云ことを申しましたから、今日空氣と云ことを揭げて、お話するにも理屈がましき性質や理論などのことに就て、委しくお話申す積りではありません。只空氣は衛生のことに直接に關係して、日常の衣服飲食は勿論、小兒の育て方病人の取扱方などにも總て空氣の關係の大切なると云ふことだけをお斷し致そうと思ひます。或ハお心得になりてをるお方より見れは、餘り淺薄卑近のことで、詰らぬとのお感觸もありませうが、私の主義は、今日直ぐ行ひ得らるゝ丈けを申すので話しも粗雜でありますから其邊は御容赦を願ひます。

空氣と申しまするものは、我々の肉眼には見えないものでありますけれども、人の生活するに就ては、飲料よりも食物よりも一番大切なもので、昔し西洋の詩人の言に、人の生活は空氣を吸とか始まりて、之を廢た時が、終りだと云ことがあります。實に其通りのもので生て居間は一寸の間も空氣を絶といふことは出來ません。水とか食物とかも無論大切のものだか、食物なれは七日斷ても死にはしない、水なれは三日斷ても死ないといふ樣な者で、必要と云ても多少猶豫があるが、空氣に限りてハ僅か五分でも十分でも、之を斷ば困難を來す、困難どころでハない、些し長くなると生命を失ふと云程のものであります。

然るに斯く空氣ハ非常に尊いものでありますが今日其中に生活して居ても眼に見へるものでないから、少く汚れても分るものでもなし兎角人間に空氣の大切と云ふことハ知て居る人でも等閑に致し勝のものであります若し其分量が足りないとか又其性質が惡いと

か申すとがあれバ其時ハ大層人の衛生上に害のあるもので萬事に關係を以て居る必要品で御座いますから能く平常ゟ其大切なる者といふとを心得て居りませんければ何用に付けて大きなる不幸を受るとに成行きます。

空氣ハ透明にして地球を包み廻はし我々の頭上より日本里數高さ十六里位の處までハ充ち滿ちて何れの所にも行渡らざる所なく又殊更に人爲にて汚しさへしなければ世界の空氣は何處にでも人の生活に適當しないと云ともない北極の寒き地方でも熱帶の暑き所でも住居の出來ぬと云ともなく富士山の頂上でも亦風船に乘ても空氣のある所なれバ生活は出來るものであります是でも空氣の生活に必要と云とは分ります然るに世の中を見れバ往々空氣の大切なることを知らざるが爲に折々過ちを生ずることがある例へは親が乳兒を懐て寢る時ゟ小供の顔に着物を覆ふとか或は鼻も口も親の肌に密着せしめたり或ハ深く夜具の中に眠むらせるなど是等はよろしくありません小供は未だ手を以て夜具着物を除け頭を持上ることも出來ませんから若し密に肌に懐き締め蒲團の下にムグらせる如きとかあれバ十分に空氣を吸ふとハ出きません又いぎたなき婦人などハ小供に乳房を與へながら眠りこんでしまひまして口も鼻も塞がれて空氣の流通を斷ち目覺めて見れバ小供ハはや事きれて居るなどと云ふ例しハ世の中に幾らもあります是等は空氣の大切と云ふことを御承知ないからの樣に思ひますそれゆへに子供を持てバ誕生した時から直ぐゟ空氣の流通を妨げぬやうに注意せねバならぬ赤坊を包むにも喉の下などハ推さぬ樣に鼻と口にハかゝらぬやうに心をつけ赤坊ハ暖き所から出たからとてソックリ頭から包み込其爲に十分の空氣を吸ふとと
が出きぬと云ふ樣な事のないようにせねバなりませ

ん乳兒の鼻と口とは常に能く掃除をしなければならん洗濯でもしたる「ハンケチーフ」か軟き白布を指の先きに溫水に浸して時々口鼻の粘液を拭ひ又乳房を與ふる時も鼻と口とを塞がぬ樣に用心しなければならぬ乳を飲み居る間ハ口で呼吸をするとが出きませんから鼻に注意することハ勿論であります時に或は噎せたり苦しがつたりして甚だ困難不愉快を與ふることがあるもので御座います。

右の樣なる害ハ皆乳兒を抱き寢するより起ることでありますから成るたけ別に床を設けて寢すがよろしい西洋でハ別にしますが日本でハ親か乳母が添乳して寢かし附けます夜乳を引かせるは力づくと思ふ樣な習慣が行はれて決して一人りハ寢かしませんがこれハ太だ宜しくない風習であります或ハ小兒の顏を深く夜具の中へ押込み或ハ母親の顏と顏と相對して双方より呼出したる炭酸に富みたる空氣(後に詳なり)を吸入し甚しきハ前にも申す樣な夜中授乳の疎忽に由て窒死せしむるなどの害があります私も澤山子供ハ持ちましたかまだ實行ハして見ませなんだが友人などハ別に寢せる者もありまして何時間毎に乳を與へ何時間毎に寢床に入れると云ふ樣にすれば最初ハ泣きむづがりても二日か三日を經ればチャント習慣が定まりて後になれば寔も心配ハありませんといふ事であります成丈けハ實行を願升。

子供が少し大きくなりて自在に動くとが出きる樣になれば自分で空氣の需用を妨げ危害を招く樣なとが度々有ります夜具を顏から頭まで被て寒夜など風の來ない樣に至したり又臆病なる兒童は夜分「オバケ」な怖て夜具を頭上に被りて顏をかくすなどは隨分少なからざる惡習慣にて睡眠中空氣の分量の不足なると其性質の不良なるとにて睡りも穩かならず恐ろしき夢に魘はれ惱み苦しみて目覺て後いたく疲勞を感

ずるもの多し元來小供は生活の隆んなるもので目覺の時は機嫌もよく活潑なる筈の者だが此習慣の爲めに疲勞を覺え日を經る後には與に其神經衰弱して頭痛腦病其他いろ〳〵の神經病を發し終身虛弱なる人となること多し子供の夜る寐るとに就ては母親となる所のノナタ方が能く御注意がないと何んでも無いことより惡しき習慣をこしらへ年をとつては容易に改りませぬこれは空氣の大切なることを思はぬより起ることであります。怖いとか寒いとか云て夜具を被る其外に子供が遊戲する時に空氣の必要を忘れ先方の小供に蒲團をかぶせ或は之を仆して藁を掩ひ枯草を被せ多勢集りて一人を埋込み上からおさへて下では動くことのならぬ樣にし又は手の掌或は手拭着物の袖などを以て他童の息を窒め苦しがらせて樂しむが如き惡戲をなすことがあります其爲めに僅かの間に顏色も變り氣絕して大騷ぎとなるとあり薄弱なる小供なれば其爲めに色々の病氣を引出すともありますす渾て斯るとは空氣の必要を知りません故に起るとで親も知らず子供も識らず遂に健康を害する如き結果に至ります此等は婦人自身の衛生ではありませんが子供を育てるといふは婦人第一の役目でありますから能く御承知になつて其子供にも能くおしえさとし空氣の要用を知らしてお遣りになるとは婦人方の御職分と思ひます。

通常大人の一日に呼吸する爲めに必要なる空氣の分○

○量は晝夜即ち二十四時間に三百五十立方尺にて其重さ二貫三百三十目位であります之を一年に積算すれば二十二萬七千七百五十立方尺重さ八百三十九貫五百目となります（先づ大層のものと御承知になれば宜しい）斯く澤山の空氣を吸はなければ生活を健康にして朝夕無事で居るとは出きません若しソレ丈の分量を吸ふことが出きませんければ重き時は死し輕

くても病氣になります是れて空氣の一寸の間も無ければならぬと云ふの大略はお分りになりましたらう。今申した通り空氣の分量が十分でなければ健康を保つことが出來ぬのみならず空氣の性質が良くなければならぬ若し清淨ならさる空氣を永く吸へば次第に病氣となります元來空氣は酸素窒素炭素と此三ッの原素より出來たるものにて其中に重なる必要品は酸素にて酸素が無ければ人の生活は出來ません酸素はソレ程大切の者だが至て性の劇しきものにて窒素を四倍ほども加へて恰强き燒酎に水を交ぜ苦き藥に砂糖を加るが如く調合して人の呼吸に適當する樣にいたしてあります其割合は

酸素	二〇、九九
窒素	七八、九八
炭酸	〇、〇三

是れが空氣の重なる成分でありますが尚ほ此外に幾分の水蒸氣を含て居らなければならぬ餘り空氣が乾き過ぎれば宜しくない併し其成分には別に關係はありません此割合が揃はなければ淸淨なる空氣とは云はれません此割合に酸素が勝つと云ふとはありませんが炭酸が勝ち過ぎれば大層毒にある甚だしきに至ては生命を奪ふ程のものであり升。

酸素は今申上げた通り性の酷烈なる物だから其儘で吸ふてはたまりませんから窒素を四倍程も調和して吸ふのですが之を汚がすものがあります即ち炭酸瓦斯と云ふもので前にも申す通り一万中の三位は通常這入て居る亦此位の少量は却て必要で免れぬものだが窒素や酸素の調合あしに此瓦斯を吸へば大層毒のもので既に一万分中の三と云ふ度を超え一万分中の十即ち千分中の一といふ程になれば最早呼吸するの空氣にはありません昔と日本の家は開豁で障子の造り方抔も自然に空氣の流通に適して居りましたが近

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

來はガラス障子などが流行して雨戸の内にガラス障子があり至て暖ではありますが其の代り空氣の流通は甚だあしくなり其中で火鉢を置て炭火をくべますから久しく其間に居れば頭が重くなりフラ／＼する樣になり万一其儘に寢込みなどすれば窒息して死ぬ樣なこともあります何時か新聞にもあつたと思ひますが屋根船で雪見をした通人が按火にあたつて寢て死んだとか云ふことがありました是れは炭酸に中毒したのです殊に木炭から出る所の炭素といふものは燃ゆる間に空氣中の酸素と交合して炭酸を拵るのでありますが燃へて火になるには空氣中の酸素を引き炭より炭素を出しますから空氣中の酸素が減じて炭素が殖へます又我々人間は吸息に於て酸素を引入れ呼息に於て炭素を外に出すもので恰人のからだも炭火の燃るのと同じ道理で躰温を保ちますから間内には人なり火鉢なり始終酸素を減じて炭酸を生するのみにて

周圍はガラス障子唐紙襖にて締め切りてありますから室内の空氣は其調合の割合か變じて所謂腐りたる惡き空氣となり之が爲に頭痛眩暈などの諸症を起すことであります。序に御斷りしもふしておきますが炭酸は口から吸て肺に入れば大層毒になるが又之を飲んで胃腑に送れば藥になります例へば炭酸曹達に酒石酸を加へたる沸騰酸とかシャンパン酒とか「ビール」「ラムデ」其他の炭酸を含める鑛泉の類は皆多くは多量に炭酸を含み清涼活潑の美味を有し胃に益になりますとは御注意にならなければなりません。

人は廿四時間に十五尺立方(一間半四方位)の炭酸を吐出すものであります四疊半の小座敷で爐や火鉢に火を焚き窓を閉て居れば炭酸の量は餘程大なるものにて其空氣は既に呼吸に適當せぬものであります。

お互に新鮮の空氣新鮮の空氣と云ことを申しますが新鮮の空氣とは通常の空氣即ち酸素と窒素の割合正し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

きものを申すので其他は皆多少腐敗して居るに相違御坐りません然しながら人事に從事して居る爲めには汚れた空氣も吸はなければならぬとは是非もなき次第なれども室内及ひ市街の空氣は多少腐敗して害あるものと心得おき成るたけ室内は窓を開きて外氣を通し又暇があれば公園に散歩するとか山野に運動するとかの必要なることを忘れてはなりません散歩運動の健康を進むるといふは支躰を動かすの益よりは淸淨なる空氣の効能が大なるものであります。

右の如く人の口からは十五尺立方ッヽの炭酸を吐出す外に尙皮膚から一種の臭きものを蒸發して空氣を汚します犬か主人の跟を臭ぎ以て搜すと云ふが自ら一種の汗か皮膚の毛穴から蒸發します其證據は長く同じ衣服を着て居れば襦袢に臭がつき男臭いとか女臭いとか云ふ樣なもので一般に固有の臭氣があります是れは別段込入た有機性と云ふでもないが動物躰から出る所の一種の瓦斯の蒸發です例へば人の多勢居る所に後から一人這入ればムウットすると云ふ樣なとが有ます烟草の香ひでも何でもない所謂人臭ひので牢屋に往けば牢屋臭ひ衛生上注意の届かない學校に入れば學校臭いといふことがあります此等も大層健康の害になります臭氣ある學校などに入る時は必ず窓を明けて十分に新鮮の空氣を通ずるとに注意しなければならぬ牢屋或は學校等に發疹窒扶私腸窒扶斯ジフテリヤ杯の病毒を持込むことあれば其繁殖は速かにして傳染することも甚しきは其空氣の汚れておるゆへであります又芝居なども朝から晩まで多勢閉籠ッて居る者ハ大なる毒であります私なども芝居は一躰好きですが午過ぎになると頭痛が致します近來八時間と云ふの制限が立ちましたがモチット短くなりても宜しいと思ひます西洋の芝居は日本の寄席位の時間で五時か六時より長くは致しません芝居を

観たる翌日非常に疲勞を覺ゆるは精神を使ふたる計りではありません主もに腐敗したる空氣を吸ふたる爲めであります近來瑞西の人で「シャッフェル」と云人が炭酸を量る手輕き器械を發明して巡査などに夫を持て芝居其他集會の場所を臨檢するといふ畢竟空氣の大切なることに注意するの厚きより自然斯る便利ある發明も出來ることゝ思はれます芝居などは元來耳目を慰めて精神を養ふ爲めの世界の道具でありますから空氣其他衛生上の事には取分け注意をしなければなりませんアナタ方も精神を慰むる爲に往て病氣を受けて御歸りなさると云ふ樣なことがあつてはなりません夕方頭痛でもいたしたらば一幕くらゐは殘しても早く歸らるゝ方がよろしいと思ひます。

世界の人は一人一日に十五尺立方づゝも炭酸を吐き火も亦炭酸を生ずるものとすれば世界の空氣は遂に芝居小屋の空氣の樣になりはしないかと云ふ掛念か起るわけでありますがソコは自然の調合で人類以下動物其他總て燃火作用より生ずる所の炭酸は草木類には大層益になるから之を吸取ります一口に言へば動物に害になるものは植物の益になり草木に害になるものは人類の爲になると云樣なもので草木は炭酸を取て蕃殖し其換に酸素を吐出して人類を益します此の如く利害を異にして互に交易しますから万古不朽世界の空氣は芝居小屋の樣になる氣遣いはありません樹木多き所に行て氣分の引立ますは其空氣の酸素に富みて清淨なる爲であります尤も植物は大陽の光りを受けてから酸素を吐くので夜分は少量の炭酸を吐きます故に夜分に居間或は寢間に植木鉢抔の草木を澤山置くのは宜しくありません其上に鉢植には培養を要するものがありて即ち人に害になるべきものを入れることがありますから酸素を吐く間は宜しいが其用を終りたる夜分は成るべく室内へ置かぬ

様に致したいのです。
人類の呼吸燃火作用に由て空氣の炭酸を増加して腐敗せしむるの外に尚種々の之を汚がして健康を害するものがあり升が如何なる物が空氣を汚すかと云ふとハ御承知になつて居らなければ今日の衛生上の利害に關係あることと思ひますから簡易に之をお噺しいたしませう。

(第一)卑濕の土地から起る所の穢ない水蒸氣であります水蒸氣が足ないで乾き過ても能くない場合もありますか溝とか池とかの潴り水又ハ菜や大根の切端が溜て居所の塵溜の不潔なる物に雨がかゝり下に水がまわり蒸れて上に昇る水蒸氣は空氣を汚して種々の病氣を惹起します一躰日本は濕れて居ることを頓着しない風俗で家を作るにも風當りのなき卑き地を擇み高き地は不經濟である殊によれば風に曝されると云ふてジクジクする所も搆いません借家などは殊に物影に建ると云ふ一種の風がある其上日本のに床が低い之れは昔しから穴に住たる未開時代の風が殘つて居のか知れぬ物影に家を建ると云ふは衛生上から云へばよくありません下谷邊ハ一尺も掘れば水がでますが床ハ水面から少なくも三尺は高くしなければなりません空氣の吹通しが良くないと自然に床下の腐敗した空氣が家の内に充満し終には大なる害を起すものであります然しながら都會などにて誰も皆高燥の地に住居すると云とは出きませぬから卑濕の地にてもよく下水管を通ずれば隨分住居に差支なき健康な土地になるものであります。

第二空氣を汚すものハ溝便所です是れも日本では一向頓着しない便所の臭きを香を焚て五魔化すなどハ衛生にハ不都合の至りで香の爲めに臭氣が無くなるのでハなく一時鼻をだますのだから消し去ッたと云とハ出きません是等の不潔なるものが自然に空氣を

汚し何時となく我々の健康を損して「ヘーストリー」「ヒピコンデル」など云か如き不活潑にして物に悩み易く氣重くして小事も心にかゝり俗に所謂ブラ／＼病といふ樣な病氣の起るもので御座りますソレ故に下水は遠く二十尺か三十尺も住居より隔て之を通し惡き臭氣の漏らない樣に陶器の管を密接し能く除ける樣に仕掛なければならぬ今迄の箱下水の如き四分板六分板位で打つけてハ下水の名ばかりで本統の用はなしません下水のことハ專門家のことにありますから深くも述べませんが下水の元は勝手のナガシモトであります流し元は御婦人方皆々の御領分でありますから能く御注意をなすつて朝夕婢僕にも命じ米の炊ぎ汁菜大根の切屑等總ての廢物ハ有機物と申して腐り易く空氣を損し人の毒になるものゆへ能く其始末をつけねバなりません元來衛生の事ハ總て目先き計り清潔にて假令臺所丈ケハ奇麗でも其腐りもの丶行く先き／＼まで見屆けて屋敷の內滯らぬ樣に致さねハ其の益ハありません香を焚て便所の臭氣を五魔化すと同じ事であります。

又製造場工業場等の諸製造場ハ大層空氣を汚すものです是れハ先程申した通り火を澤山に焚くからであります其上に製造品によりて種々の惡き瓦斯を多く生じ皆空氣を汚すものとなりますされバ此等の物を建るにハ都會より五町以外に建てなければならぬのだが東京にハ市內何處にも製造場等がありますから萬一御移轉なさる場合に當てハ第一に其地の空氣に氣を付けて製造場の側などハ御用心なさるがよろしい。

空氣を汚すものハ右の外にまだあります即ち傳染病の病人です病人から出る一種の汗即ち先程申した蒸發氣です是れハ格別に注意しなければならぬ一室の中に病人があれバ室內の空氣は流通する樣にして時

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

々風を通すか時々に居間を取換るか朝な〳〵掃出すか病人の衣物夜具蒲團を換るかの注意をしませんと病人の爲めにも看病人の爲めにもなりません傳染せずともすむべきに傳染すると云ふことがありますから能く注意すべきことである且つヨク〳〵緊要のことでなければ無益に傳染病のある家に見舞に往くは宜しくない先方の爲めにも此方の爲めにもなりません然しながら見舞にも行き親切に看病もしなければならぬ場合には今お話した樣に新鮮の空氣と其外十分よ清潔にすることに注意し大小便の始末着物の取換方吐瀉物痰鼻汁眼汁などを拭たる布切れ紙屑の始末に注意し消毒藥を注ぎ又は燒き棄るなどのことに注意し右等の品に觸れたるときは其時々に手を洗ひ口を嗽ぎ衣ものも拂いて其病毒を我躰に附けぬように用心せねばならぬ然し臆病で熱病だから傳染りはしなからうかと喩吞に思ふのは惡るい臆病なれば神經で染り易い注意さへよければ傳染するものでありません注意と臆病との別をよく心得ねばなりません且つ疲れて居れば病毒に襲はれ易いから必ず寢ると休むとを忘れてはなりません晝夜手の離せぬ病人なれば晝夜代り番を立てゝ疲れぬ樣に又看病人自らの養ひも能くしなければならない親夫の不快には三日も四日も帶も解かず食事もせずと云ふとは如何にも然うこそあるべきことにて此上もなき美德なれども萬一其爲めに感染すると云ふ樣なことがあつては共に倶に病氣となり一家の禍を釀す樣になりますから能く御注意なさるべきであります。

右は空氣の是非なければならぬ必要の事十分の空氣を呼吸するにも淸潔なる空氣でなければならぬ事清淨なる空氣の調合の事又空氣を汚すべき事物の事よりして右に關係したる御自分〳〵の心得方は勿論子供の育て方病人の扱ひ方臺所の始末など手近なる事

を申し述べた積りであります此道理より推して御考にありましたらば日常の事にいろ〳〵と御心の付くとが澤山あらふと思ひます私は只其一二の例となりそうな事を思付たる儘に申たのであります此他空氣の温度より衣服の事に付き御話しもありますが是は他日に讓り今日は是れで御仕舞に致します（完）

○婦人病の元因

長谷川泰述

左は六月本會常會に於て講演せられしを會員佃與二郎氏筆記ありたるものなり

私が今日御話し申上まするのは婦人病の原因と申題で凡此の國が文明開化に趣きまするといふと、從て開化と相伴ふ一の弊害が必ず免かれませんものでありまして、御婦人方に於きましては、男子とは違ふて、一種男子に無い一ッの御病氣があり容易ならざる結果に至ります、斯の如き病氣は色々有ますが殊に此開化の進歩と相伴ふ弊害から生ずるものが尤多數を占めて居り升、其原因に就て聊か清聽を煩しまする積りであり升。

扨婦人病の原因と云ふ中にも種々雜多の原因がありまして、中々数へ盡す譯には往きません次第ですが其の中で重もなる原因が六ッあります。其第一は空氣並に運動の欠乏なるのです。第二には神經系の發育過度と申ましては凡此人間の身體に於きましては身體を動かす所の筋と云ふものが有ッて、或は歩行するとか動くとか色々の事をするものです、神經とは御承知の通り、我々が物を視ると云ふものか、聽くとか、文字を讀むとか、總て智識上に關係致しまする事、其外寒熱痛痒を知りまする事、斯の如き作用は、皆神經と云ふ、肉體の中ちに通ッて居る筋の樣なものゝ働きだが、此作用から起るのです、總て人間が今日健康にして生活を營みまするのは神經系

の發育の度と、筋の發育の度が、恰好并行しなければならない、若しも神經の發育の方が割合に過ぎて、筋の發育が不充分なれば、種々なる病氣を醸します、是が第二の病原で。第三の原因は、衣服の不適當で有ります、御婦人方が召します所の衣服が適當致しません所から、色々の病氣が起りまして、是が爲めに御一身のみならず、或は御子様迄關係を有しまする様な、不容易の疾病を醸す事が有ります。ソレから第四、第五、第六は御婦人方にのみ有ッて男子に有りません所の一種御注意になる可き者でありますが、是は少し申し惡くいが、名丈けを申しますれば、月經時の身體の不注意か或は御子様が生れた分娩後の不注意から、起る事もあり、又結婚時に、身體の健康不健康に關して、大層御婦人方に御病氣の事が有りますが、特に御婦人方にのみ限りまして男子に無い所の一ッの病が發生する事が有りますが、

其原因は、只今申しましたる六種の物の何れかより、發生するのです。尤今第一から第六迄申したのは、從來日本の御婦人方の衛生上の欠點に就て、研究或は探索した點から申上まするのではありません、是は、外國に於きまして、歐羅巴或は亞米利加等に於て、只今申上ました或る原因の中から疾病を醸す所の現況に就て、申す積りであります。

ナゼなれば、私が西洋の現況を述るに就ては、聊か考へも有るのです、當今世の中の風潮を倩々觀察するに、實に滔天の勢いとも申しませうか、云はゞ大洪水が出て堤防を崩し、數十里間の人畜を流す可き勢いで何んと是を形狀しませうか、私只何んとも申されません、繫く丈けの次第で有りますが、ソレ故に、從來に日本に有りまする衛生上の欠點等に於て、病の有る事は姑く之を措て、目下の風潮に依れば、寧ろ外國に視る所の疾病の原因が、或は我國に於け

る貴夫人淑女にも適當しはしまいかと思ふ所から、西洋の御婦人方の御病氣の原因に、尚一二の鄙見を申述べようと云の考へで御座い升。」ソレ故に只今申した原因は、是を言葉を換へて云へば、開化の美麗、文明の粧飾です、是から起る所の婦人病の原因と云ふ精神です、開化美麗と云ふ中ちでも、殊に我東京の如き、只、都府、開化、美麗から起る所の婦人病原因に就て申す積りです。扨只今申した所の一より六迄の原因の中ちで一々之を申しても、餘り事柄が錯雑して、却て御聞き苦しき次第と思ひますし、或は又醫者の方に寧ろ關係か多くッて、普通衛生の方からは餘り關係が少くない點が無きにしもあらずと考へる所から、第一第二第三と、此の三ッの事に就て鄙見を述べて、高聽を煩します。

○○第一運動の不充分空氣の欠亡なる所から、婦人の病の起る所を話します。亞米利加合衆國の人が申しまするに、何うも我新國は、我父母の國なる舊國歐羅巴の婦人に比較すれば、運動が少くない事は最う孰れも不の字を云ふ者は無い、歐羅巴であれば、假令ば英國の貴婦人淑女諸君などは、尤身體の運動十分に致されます、歐羅巴の婦人なれば、何程か男子の様に戸外に運動します、又婦人方は馬に乘る、御聞及びも有りませうが英吉利の女皇陛下などは、宮内省の貴嬪を召せられて隨分長い所を騎馬で散歩なさる事などが有りませう、又婦人方がボートと云ふて船を繰ります、其外投毬とか身體の運動の爲に戸外に遊戯さるゝ事は英國の貴婦人淑女などは怠らず殆んど男子の如くに運動を致す譯であります、然るに亞米利加人の申す所では、悲哉我新國合衆國に於ては、大都府の婦人自ら、舊國婦人の如き散歩、或は騎馬、投毬の如き運動は致しません、實に我亞米利加合衆國は、如何なる譯であるか、僅か一日一哩足らずの道を歩行

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

する者は、恐らく一州百人とは有るまい、只歩行に要する所の筋を勞動する事一週間十四五町の道を歩行する丈けて、其外凡身體の運動をなす、騎馬とか毬投げとか、其外の運動は、亞米利加婦人はしない、實に舊國に對して如何なる思想を懐いて居るだらうか、斯の如き成行で我亞米利加合衆國が先に進んだならば、是より子々孫々如何なる結果を來すで有らうか、實に慨歎す可き事で有る、ナゼ我亞米利加合衆國の婦人は斯の如き舊國に對して運動をしないで有らうか、亞米利加人が申すには、合衆國の大都府に於て貴夫人淑女の運動をしない事は、詰り英吉利其外歐羅巴諸國に於て貴夫人淑女が戸外の遊戯をする樣な騎馬或は毬投の如き運動法の遊びは亞米利加の流行の風に叶はないのか、そんな事をすれば田舍の百姓家の妻君か娘かボーイかの樣な者で、貴婦人淑女は決してソンナ者でないと云ふ樣な事か、是れ第一婦人の運動しない原因で有らう。次には、總て何處でも、御婦人方は容貌の嬌麗とでも云ふ可きか奇麗に優さしくするのが人情のあたり前の樣だが、殊に亞米利加は容貌の嬌艶を作らんとする病氣の沙汰が有り、嗜好の一ッの癖で有る、是が一ッの原因で有らうと思ふ。

併しながら運動不足の原因は只今述べたる如く衣服の不適當の爲めで有らう、ナゼなれば、今日の如き服制で有るなれば、風も無く雨も無く穩和なる好天氣なれば、隨分洋服を着ても、貴婦人淑女が戸外に運動が出きるが、若し風雨其他天氣が惡るいなれば、迚も今日の服では十分運動が出きない、戸外散歩などは行はれない話しであります、言葉を換へれば、穩和なる天氣の外身躰の營養上に緊要なる空氣の中で逍遥散歩する事は出きぬのであります、戸外に於てエヲク筋肉を働かすれば、ケ樣の遊びをするのは、詰り下

等社會田舎間の婦人か乃至割烹店のボーイなどのする事で、淑女のなす可き事ではない故に、閑散の時は書物を讀むとか音樂するとか、是等の事を餘り過でして、更に運動しない所から、遂に弊害を來たすで有らうと亞米利加人は慨歎して居ります。

此の亞米利加人の慨歎は、我日本に於て維新以來東京の風潮に餘程適當して居りはしないかと思ひ升、如何なる有樣か近來貴夫人淑女は美麗の洋服を召して、運動の遊びなどは何か下等社會のヤル樣な事で天氣の好き時にカルデンで遊ぶ樣な事が有るかは知れないが、昨今の風潮なれば、日に增し運動が減却しはしないかと思ひ升、貴夫人淑女が身躰の運動をなさるゝに就ては、却て封建の時代の方が餘程今より勝りはしますまいかと思ひ升、尤も封建時代には何も衛生上の爲ではなく、長刀を遣ふとか、何か武藝をなされたのみ、全く武邊の精神から出たので、婦人ながらもまさかの時はと云ふのでしたらう、併し身躰を運動して疾病の原因を除くと云ふ點に至れば、矢張英國などで女皇陛下が馬に乘り貴婦人淑女が戶外に遊戲すると、歸する所同じではないかと思ひ升。

只今の處では徒らに容貌の美麗のみを飾ッて身躰を健康にする病氣にならない樣にする事は更に御頓着が無い樣に思ひます、斯く申せば、爰に御出席の貴婦人淑女に對しては失禮に當るかは知れませんが、今日御臨席の方々は恐く衛生法の事を御承知でも有り、大日本婦人衛生會と云ふものも設けられ勿論適當の運動をなさるで有りませうが、試に會員諸君外に眼を轉じて考がへたなれば如何なる有樣で有りませう只だ美麗嬌艷とでも云はうか、更に身躰の運動、病の元を除くと云ふ樣な事に御注意になる人は無いと思ふのです、滔々として社會の風潮は、右の如くに思はれる、シテ見れば、亞米利加人が歐羅巴舊國の人に

對して慨歎すると同じく、東京の貴婦人諸君に對して斯の如き弊害は成る可く是を芟除して仕舞はなければならぬ事と思ひます、若し否らずして御婦人が此の儘に運動もせずに居られたなれば、日本は一の病國となつて仕舞ふて有りませう、ナゼなれば親が病氣する許りでなく、親の病氣を子が承けます、弱い親から強い人は出きますまいし、概して云はゞ弱い母から弱い子が出きる。（未完）

○健康保險の話

飛田良吉君述

左は婦人衛生會千葉支會に於て演述せられたりと該會より寄られたるものなり

今日は大日本私立婦人衛生會千葉支會の發會式だと云ふて態々幹事の方より御案内でしたから取敢へず參りました處が前々から約束せし辯士の中に俄かに差閊の出來た方があるから其代りに私に何か演說せよと副會長や幹事の方々から御咄がありましたけれ共何致せ突然の事ですから是と云ふ好き思ひ付もありませんが近頃のはやりもので色々の保險と云ふ事があります此保險に就ては少しく考へを起した此保險の種類にも澤山ありて或は火災の保險だの或は生命の保險だの又は時計に保險附があるの蝙蝠傘迄保險附の物があるそふですが中で生命保險と云ふは定めし衛生上に大關係のある事と思ひ能く其組立を聞質し升に衛生上には直達の關係は少なく返て經濟上の方が直達の關係多きよふに思われ升夫れ故私は今爰に衛生上直達の關係多き健康保險の仕組を御話致そふと思ひ升

扨世の中の習慣にて古來より家に病人が無ければ醫者を招ぐと云ふ事なきは勿論少々位病氣に罹りましても更に頓着せず猶醫者に掛る程の事もあるまい迚閙掠りの素人療治を施し或は賣藥を呑んで一時を凌ぎ或は理由も分らぬ禁厭祈禱抔して一時の氣休

めをなし未だ醫者の世話になる程恐くないと我慢して愈々惡く成ると其時始めて醫者でも賴まふかと云ふ此時に成て醫者が來て見ると病氣は甚だ募りて最早手遅れと云ふ塲合に立至りたるにも關らず病者云ふなれに私は生來健康ですから大抵な病氣は押通して是迄お醫者の藥を呑んだ事はありません抔と瘦せ腕の張り肘をする者あり成程此様な人は醫者の藥を呑まぬ筈ですどんな人でも普通人の藥用すべき程の病に罹りてもむやみに押し通して藥を呑みさへしなければ死ぬ迄藥を呑んだ事がないと云ふ事は謂へ升けれども世人へ對して誇るところではなく返て命知らずと云ふそしりは免ぬかれ難いではありませんか夫れも知らずに瘦せ腕を突張て我慢するは實にやせがまんでありませふ然してこんな人が過々醫者に掛ると藥の盛がわるい抔と分量の少きを不平を鳴らし（蕎麥屋の店先きて聞た不平に能く似て居り升）少しく快方に赴く氣色が見ゆると最早醫者を煩はすに及ばぬと云つて來診を斷り前途甚だ安心ならぬ身躰を持ちながら再び素人療治や買藥を始むる事があり升個様な人々の醫者を招くは病の峠とも云ふべき暫くの間でありまして其前後の養生法さへ左迄心に掛けない位ですから平常の攝生法抔は申迄もない事と思われ升一躰人の身躰と云ふものは常に淸潔にして適宜の飲食を與へ適宜の運動をなし家屋の中に空氣の流通を善くする等の事こそ養生の爲めに大切なる事なれども今日在來の風にて右等のヶ條は只醫者の口先きにて說き示すのみにて別に之れを擔任して注意する者なく病者の家人にても服藥の外は別に是と云ふ務むる事もせず醫者の忠告已に切ならぬ處聞く者これに上増して等閑に附し去る故相率ひて病を輕んずるの風でわり升斯く治療攝生の間に弊習の行なはるゝ其原因を尋ねまするに特り其家の罪にあらず何

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

とあれば醫者が病家を見舞度毎に或は報酬を要求し或は病家に住き其酒食を貪り旁々以て藥價に比すれば冗費の方が遙かに多額を要する樣な習慣があり升此の如き習慣のある以上は病氣の時も成べく醫者の世話にならぬ樣にと心掛くるも亦因緣のあることとであり升夫故に今此惡習慣を打破り更に左の仕組を立たら如何でしよふか其要點を摘んで申せば毎年々の始めに各々自最も信任する處の醫者壹名を雇ひて十二ヶ月の間給料何程と定めて月掛とか四季の渡とか盆暮の勘定とか取極めて約束し其十二ヶ月間に其家に病人ありし時は専門の醫術を要する場合（譬へば外傷等にて外科手術を施すとか又は難産にて産科醫を招くとか齒の病で入齒をするとか云ふ樣な事）を除くの外は何時にても無料にて診察治療する事に約し置十二ヶ月中には幾回とか其家中を撿査して若し健康に害ある事を見出せば何に限らず指し示して改良せしむる樣に約束し定約の期限中は醫者は其一家内の健康を保険する譯ですから之を健康の保険と云ふて宜しからふと思ひますそふして此方法が實際に行なわるゝ樣に成り升と時計や蝙蝠傘の保険よりも餘程益のある事ですなぜならば醫者が病人を診察するには其人の生來から其當時迄の健康か不健康かを委敷問はなければ一寸外見しても能く前々の事抔は見分からぬ事があり升夫故に初め委敷前々の事柄を聞きて後に其當時現らはるゝ摸樣と照らし合せて診察するものであり升之れを醫者の方で既往症現在症と云ひますされば醫者たる者病人を診察する時に當て此必用な事柄を知らざる時は一々病人に就て問はなければならぬ故若し重病にて病者自身にて答の出來兼ぬる場合に於ては餘儀なく側らに附添人に其樣子を尋ぬる位の事で迚も充分な譯には參りません又よし自身にて答へるにもせよ平常健康の時の如く

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

深く考へる事は出來ませぬ故其時思ひ附た事柄丈け僅かに答ふる位のもので決して充分滿足と云ふ事は望めますまいされども健康保險の法が行なわるゝ様に成ませば醫者は其一家人の生來は勿論平常飲食物の嫌嗜迄能く知る故に只一診して充分に治療の見込を着くる事得難からざる道理であり升殊に時計や蝙蝠傘とは異なりて損傷たからとて其場所を取はずす事も出來ぬ身躰の事ですから平常から餘程注意して破損の患のない様にして萬一破損のかたむきある時は速かに修繕を加へなる丈け大潰に陷らざる様にして天命を全たふに致したいと思ひ升。

○本會記事雜報

○本年第一總會を三月廿四日神田區一ッ橋外高等中學校内大學講義室に於て開けり當日天氣晴朗なるが故會員諸姉は定時午後一時二十分前より參着し將に會を開かんとするに當りて荻野吟子立て會員諸姉の來臨を祝し次ぎに當會前半年度の景況及び會計の報道「第二號雜誌に掲載あり依て省く」並に規則改正の原案を朗讀し一々決を會員に取れり終りに臨みて幹事松浦里子曩きに其職を辭せられたる後撰を諸姉の投票を以て定めんため投票紙を配付し席上にて記載を乞ふ

小石川區金富町三十三番地

當撰中高點者　濱尾作子

（氏承諾せり）

次ぎに大澤謙二君（小見私己の衛生）演べ午後五時十分退散せり本日傍聽者無慮貳百五十餘名なり

四月七日常會を前同所大學講義室に於て開けり當日は前日より降雨たりしが幸に午前十時頃より全く晴るゝと雖も雨後の故を以て自然出席者僅少にして一百餘名に過ず當日の講師宮本仲君（唾液消化力の話）「附其試驗」三宅秀君（　　）演せられ五時諸姉一同退散す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

當日我會員千葉在高梨光子氏郷里千葉に於て支會開設の件にて來會幹事と談話數刻に及ぶ

○五月五日常集會を從前の通り大學講義室に於て開けり此日快晴會員滿堂立錐の餘地なきの盛會なり當日の講師衞生局長長與專齋君（空氣の話）宇川盛三郎君（衞生と行政府との關係）演ぜられ午后五時一同退散せり

○五月十二日本會の支會を千葉に設立し該地高等小學校に於て開設式を擧行し本會より幹事荻野吟子太田幾子二氏臨席す

○五月三十日役員月次協議會を開き本會の主旨を擴張し社會の福祉を增進せんと謀り左の評議員を置く

本郷區西片町拾番地　榊　幸子
仝區森川町壹丁目一番地　古市靜子
仝區湯嶋切通阪町八番地　小立爲子
仝區森川町壹番地　香月夜雨子
四ッ谷區寺町廿一番地　松平錫子
仝區左門町六十九番地　志賀八重子
神田區駿河臺南甲賀町八番地　原　八重子
仝區今川小路貳丁目十四番地　鈴木虎子
京橋區弓町二十三番地　西尾友子
仝　區炭町二番地　平田榮子
麹町區麹町八丁目五番地　瀧野さへ子

（以上十一名）

○六月二日同所大學講義室に於ひて常會を開けり當日は快晴定時午後一時より開會本日講師長谷川泰君（婦人病原）榊俶君（精神病の話）演ぜられ午后五時一同散會す

○七月八月之二ヶ月間は常集會を休會せり

明治廿一年五月以後入會者

東京府

牛込區天神町七十一番地　青木　安子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

麹町區中六番町四十九番地　吉原米子
四ッ谷區仲町三丁目六番地　林いよ子
日本橋區阪本町三十九番地　三橋梅子
日本橋區三十間堀十七番地　西升子
日本橋區箔屋町　宮田慶子
京橋區炭町貳番地　平田榮子
下谷區竹町九番地　久保田愼子
麹町區中六番町八番地　內藤ちか子
本郷區西片町十番地　伊勢豐子
本郷區湯島三組町八十四番地　柳田ちか子
小石川區竹早町八十一番地　三浦とめ子
本郷區金助町貳番地　野田すみ子
神田區裏猿樂町貳番地　藤島信子
芝區田町四丁目六番地　山田久米子

熊本縣

熊本區天草郡町山田村　吉田房子
仝　區仝　郡仝　村　古莊留子
仝　區仝　郡仝　村　安藤まち子
仝　區仝　郡仝　村　吉富霜子
仝　區仝　郡龜川村　小代い志子

愛媛縣　贊成員

伊豫國喜多郡河之內　栗田登務衛君

福岡縣　（第二號雜誌掲載漏れ）

筑前國那珂郡春吉村八十一番地　戸木麟君

現在會員數　廿一年八月調

東京府下會員數　（二一一）　內退會　（一四）
府外會員數　（六三）　內退會　（〇）
東京府下贊成員數　（二〇）　仝　（二）
府外贊成員數　（一二）　仝　（〇）
修身會員數　（六）　仝　（〇）
惣會員數　二百九十六名

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

收入金

自明治二十一年二月十五日
至同八月廿五日
會計報告

收入金	金額
會費	九九円二五〇
修身會員出金	四〇円〇〇〇
有志寄附	一四円〇〇〇
合計	一五三円二五〇

支出金

支出金	金額
開場費	二〇円〇〇〇
雜誌印刷費	三四円九八〇
規則類印刷費	二〇円五〇〇
新聞廣告費	五円四九〇
配送郵券費	一九円一四〇
書記給料	三〇円〇〇〇
筆墨紙費	三円三五五
什器費	三円二六〇
雜費	二円七四五
合計	一三九円四七六

收支差引

收支差引	金額
殘金	一三円七七四

本會之

本會之	金額
前年度三井銀行預ヶ金	八〇円七五五
預ヶ金利息	一円二三〇
殘金預ヶ	一三円七七四
合計	九五円七五九

右確實也

大日本婦人衛生會會計幹事

本會へ寄附物品

東京府

金五圓貳拾錢	南部隈子
金三圓四拾五錢	細川靜子
金壹圓	岡田美壽子
金六圓五拾錢	村岡久野子
金壹圓	川目仙子

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

金壹圓　加藤鈴子
金貳拾錢　新居民子
金貳拾錢　湯川勝子
金三拾錢　古瀨民子
金壹圓　荻野吟子
金壹圓　北古賀勝子
金壹圓　多々羅豊子
金壹圓　雨角照子
金貳圓　太田幾子
金貳圓　芝區慈惠醫院　看護婦中
金壹圓五拾錢　小倉竹代子　中島仙子　兒玉小春子　山田逸子　八木政子
金貳拾錢　長谷川なか子
金參圓　桑原元子
金壹圓　設樂園子

金五拾圓　石崎政道
金三圓　金井竹子
金壹圓　木寺安敦
金貳圓　大野松齋
金壹圓　平井琴子
廣島縣
金壹圓　馬渡玉子
山梨縣
金壹圓　堀口清子
東京府
金貳圓　柳幸子
金五圓　濱尾作子
淡線記音學獨習全記　一部　大日本顯道學會
青森縣管内虎列剌病流行記事　一部　青森縣廳衛生課
婦人のつとめ　一冊　長與專齋
日本食志　全一冊　小鹿島筆子
青森縣衛生第二年報及第三年報　二部　青森縣衛生課
埼玉衛生會雜誌　四十三號　埼玉支會衛生課
愛媛衛生會雜誌　四號及五號　愛媛縣支會衛生課
衛生新聞　凡二百枚　東京衛生新聞發行所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

私立大日本婦人衛生會規則（改正）

第一條　凡本會の目的ハ汎く婦女子をして人生の健康を保持するの方法を講究し衛生上の智識を開發せしめ隨て社會全般の幸福を增進するにあり

第二條　本會ハ私立大日本婦人衛生會と稱し之を東京に置く

第三條　本會の會員たらんと欲する向ハ身分の尊卑を問ハず何人にても入會することを得

第四條　會員たらんと欲する向ハ族籍住所姓名を記し本會事務所へ申込ある可し

但事務所ハ京橋區日吉町八番地に之を置く

第五條　入會後轉居する向ハ速に事務所に通知ある可し尤死去の節ハ親戚知友等より通知ある可し

第六條　本會々員ハ分て終身會員通常會員の二類とし共に會費金を納むるものとす

但終身會員ハ一時に金拾圓以上を納め通常會員ハ一年金壹圓貳拾錢（三月九月の兩度に金六拾錢）宛を納むるものとす尤も會員中書生及其他事故ありて定額を納め難きものハ唯雜誌料として每月金五錢を納めしむ

第七條　男子にして本會の主義を贊成の向ハ之を贊成員とす尤も會費金ハ本會員に同し

但本會に功勞ある向ハ役員の協議を以て終身贊成會員（無會費）とすることある可し

第八條　本會に左の役員を置く

會長一名　副會長一名　幹事五名　書記若干名

第九條　會長副會長及幹事ハ會員の投票を以て之を互撰し書記ハ幹事の推撰により會長之を命ず

但書記ハ都合により會員外の婦人又ハ男子に托することあるべし

第十條　會長ハ本會を總理し副會長ハ會長を補佐し又ハ其代理をなし幹事ハ會長の命を受けて會務を處理し書記ハ上役の命に從て諸記錄及雜務を掌る

但幹事の分課を設けて　第一會計　第二編輯出版　第三庶務とす

第十一條　會長の見込を以て右役員外に會員中より臨時に評議員を置くことあるべし

第十二條　會長副會長及幹事の任期ハ一年とす尤も再撰するも妨なし

第十三條　會長副會長及幹事ハ無給料とし書記ハ相當の報酬を給す

第十四條　本會の集會ハ七月八月を除くの外每月一回とし通常第一土曜日午後一時より之を開く

第十五條　每會學士を聘し講義演說を囑し本會々員の演說と共に之を筆記して本會雜誌に掲載し四季各一冊つゝ無代價にて之を會員に頒付するものとす

但し演說の間に談話を交ゆることあるべし

第十六條　會員ハ家族の婦女子又ハ知己の婦人を本會々場に誘致して傍聽せしむることを得

第十七條　講義演說の際男子の傍聽を禁ず

但會員に緣故ある男子ハ此限りに非ず

第十八條　本會の所有金ハ本會の名義を以て三井銀行に預くるものとす

但些少の金額ハ日々の費用支出の爲事務所に引出置を得

第十九條　會計の收支ハ總て會計課幹事の捺印を要す

第二十條　會員又ハ會員外より金圓若くハ書籍物品等を寄贈あるときハ本會より謝狀を送り且寄贈の品目及其人の姓名を本會雜誌に載せ報告するものとす

第廿一條　會費ハ郵便小爲替にて東京芝口郵便局へ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

遞信省認可

向け振出しある可し
但不得止場合には郵便券（一錢券に限る）を代用するも妨けなし尤一割增とす

第廿二條　入會員には會員證を附與すべきに付郵便にて申込の向は郵便券二錢を添ふ可し

第廿三條　毎年三月九月の集會に於て會計の收支庶務の概畧幷に會員の增減等を報告す可し且規則改正の案あらば之を報告するものとす尤議定は總て多數決とし可否半數なるときは會長之を決す
但至急規則の改正を要する事あるときは預め會員に報して臨時に之を爲すことを得

第廿四條　毎年九月の集會に於て役員の撰擧をなすものとす

第廿五條　規則の範圍内に於て役員の評議を以て其細則を設くることを得

第廿六條　各地方にて發起者十八以上ある者は支會を設くることを得
但其規則は本會の規則に牴觸せざる樣起草し本會役員の認可を經べし

第廿七條　本會の集會場は時々報知する者とす

第廿八條　會費金內受領證を付與すべし尤小爲替又は郵便券にて納むる者は右受領證遞送費として郵券二錢を添ふべし然らざれば受領證は送付せさるものとす

第廿九條　退會せんとする向は會員證を添へて其旨事務所へ報知あるべし

明治二十一年四月改　東京京橋區日吉町八番地　私立大日本婦人衛生會

府下會員諸姉に告ぐ

常集會毎月第一土曜日に開會
九月（一日）　十月（六日）
十一月（三日）　十二月（一日）
從前之通神田區一ッ橋高等中學校內大學講義室を借受候間豫め御承知有之度候也

私立大日本婦人衛生會事務所
東京日吉町八番地女學雜誌社內

本會雜誌編纂委員　荻野ぎん子　鈴木まさ子

發行所　東京日吉町八番地　私立大日本婦人衛生會
編輯兼發行人　東京京橋區日吉町八番地寄留　巖本善治
印刷人　東京芝區源助町拾壹番地寄留　森田豊

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN